

目 次

| | | |
|--|----------|-----|
| はじめに | 渡邊 直樹 | 1 |
| 巻頭エッセイ 「インターネットと公共圏」 | 倪 永茂 | 5 |
| I 論文・報告等 | | 9 |
| 投稿論文 「宇都宮はどのように紅茶を活かせるのか？」 | | |
| -日本における紅茶を通じた市民活動から見る宇都宮・栃木の可能性- | 栗原 俊輔 | 11 |
| 「カンボジアの格差・貧困問題に関する考察」 | | |
| -「新しい貧困の罌」からの脱出は可能か- | 重田 康博 | 20 |
| 「有島武郎と朝鮮メディア -情死事件を手掛かりとして- | 丁 貴連 | 43 |
| 「公共性の成立と言語 18世紀ドイツの<言語協会>」 | 渡邊 直樹 | 62 |
| 「韓国における外国人児童生徒の教育の現状と課題」 | 金 英花 | 70 |
| 「日本語と中国語における空間辞の使用に関する研究」 | | |
| -参照枠の選択の視点から- | 趙 無忌 | 84 |
| 「持続可能な人道支援のためのマルチラテラル・ネットワークの構築を目指して」 | | |
| -フィリピンのHAVEN(安息の地)への支援を事例として- | 仲田 和正 | 97 |
| 「第二言語としての日本語の連語習得について」 | 方 小賛 | 112 |
| 研究ノート 「国際理解における言語活動の諸相：」 | | |
| 母語、第二言語、国際語としての英語の視点から」 | 佐々木一隆 | 120 |
| 「宇都宮市民のフェアトレードに対する意識調査」 | 重田康博・倪永茂 | 130 |
| 「スポーツ行政における国際交流・国際貢献」 | | |
| -スポーツ庁の事業を手掛かりとして- | 中村 祐司 | 144 |
| II 活動報告 | | 149 |
| 1 連続市民講座 VOL.10「水俣から照らす一原発災害と足尾銅山鉍毒事件」 | | 151 |
| 2 第5回 かぬま多文化共生講座「はじめの一步」(2015年開催報告) | | 157 |
| 3 第7回 グローバル教育セミナー「アジアにおける社会起業とグローバル教育」 | | 161 |
| 4 益子プロジェクト報告 | | 163 |
| 5 <シンポジウム> -NIKKO世界遺産+1! -グローバル時代のツーリズム- | | 167 |
| 6 宇都宮大学HANDSプロジェクト 2015年度活動報告 | | 169 |
| 7 「福島原発震災に関する研究フォーラム」概要と本年度の活動報告 | | 170 |
| 8 福島乳幼児妊産婦支援プロジェクトのスタッフ業務を振り返って | | 173 |
| 9 スタディツアー報告「足尾・渡良瀬河流域ツアーから学ぶ足尾鉍毒事件の構造」 | | 177 |
| 10 FnnnP栃木Jr.活動報告 証言集読み合せ会 | | 180 |
| 11 研究会報告「とちぎ暮らし応援会による広域避難者支援の取組み」 | | 183 |
| 12 「栃木避難者母の会」活動の記録 -避難先の出会いに支えられて- | | 195 |
| III 関連資料 | | 209 |
| 1 センター組織と活動記録 | | 211 |
| 2 宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター年報発行要綱 | | 212 |
| 3 多文化公共圏センター関連 新聞記事 | | 213 |